

平成30年9月6日開会

平成30年第3回東松島市議会定例会

議員総括質疑通告書

東松島市議会

議員総括質疑 目次

平成30年第3回定例会

順位	会派名 議員氏名	件名	頁
第1位	清風・公明 五ノ井 惣一郎	1 平成29年度決算審査意見書に対する所見を伺う	2
		2 平成29年度決算における公約（マニフェスト）の成果はいかに	3
第2位	清新会 滝 健一	1 平成29年度決算の単年度収支について	4
		2 不納欠損額について	5
		3 決算を後年度の政策の参考に	6
第3位	市民クラブ 小野 恵章	1 阿部市政の継承からの決算を問う	7

氏 名	質疑事項	要 旨
<p>第1位</p> <p>清風・公明</p> <p>五ノ井</p> <p>惣一郎</p>	<p>1.平成29年度決算審査意見書に対する所見を伺う</p>	<p>平成29年度も東日本大震災復興の加速を目指し、重要課題を掲げ執行されたことは、全国各地からの職員派遣および任期付職員の採用補充さらに職員・市民の尽力のたまものである。</p> <p>平成29年度の決算審査の総括にあたり次の点について伺う。</p> <p>(1)さらなる復旧復興を邁進するには、災害派遣職員の尽力と財源確保が不可欠と思慮され、国の交付金も平成32年度まで、財政調整基金は平成33年度には枯渇することが予測される。これは深刻な問題であり、安定した財源の確保が不可欠であるが、考えを伺う。</p> <p>(2)「持続可能な行財政構造の構築が早期に求められる」とあるがこのことについての考えは。</p> <p>(3)「補助金・助成金は必要性・妥当性を十分に検討され透明性を持って執行されたい」とあるがこのことについての考えは。</p> <p>(4)不納欠損は市民に不公平感を抱かせる。これまで以上に滞納者の早期対応を望むとあるが所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第1位</p> <p>清風・公明</p> <p>五ノ井</p> <p>惣一郎</p>	<p>2.平成29年度決算においての公約(マニフェスト)の成果はいかに</p>	<p>市長は、市民に7つのマニフェストを約束した。まだ任期半ばであるが、公約での平成29年度での実績・成果と今後の公約推進を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会 滝健一</p>	<p>1.平成29年度決算の単年度収支について</p>	<p>平成29年度一般会計に係る決算は、歳入歳出差引額が18億3,046万4,810円となっている。この額から翌年度に繰り越すべき財源8億5,258万1,700円を差し引いた実質収支9億7,788万3,110円からさらに前年度実質収支20億7,608万6,586円を差し引いた単年度収支は10億9,820万3,476円の赤字となっている。平成28年度の単年度収支は4億4,821万8,851円の黒字であった。</p> <p>一方特別会計全体では、平成28年度が8,177万余円の黒字だが、平成29年度は6,477万余円の赤字となっている。このような結果をどのように踏まえているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会 滝健一</p>	<p>2. 不納欠損額について</p>	<p>平成29年度一般会計における不納欠損額は、市民税、固定資産税、軽自動車税合わせた市税が2,560万5,528円で平成28年度と比して4.56倍にもなっている。一方特別会計の不納欠損額の総額においても平成28年度の3.59倍となっている。どのようなことに起因しているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	質疑事項	要 旨
<p>第2位</p> <p>清新会 滝 健 一</p>	<p>3. 決算を後年度の政策の参考に</p>	<p>決算は予算を執行した結果、どのような成果を挙げたかを示すものであり、行政効果や経済効果をどのように総括するかが、重要であり後年度に生かさなければならない。特に後年度の厳しい財政見通しをどのように克服するのか。市長の決算説明でも財源の確保や経費の削減等に努め健全財政を維持していくとしている。これらの具体策を伺う。また、監査委員からも今後の財政見通しを憂える内容が指摘されている。決算を後年度の政策の参考にするとともに、それぞれの予算執行に生かしていかなければならない。市長の所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	質疑事項	要旨
<p>第3位</p> <p>市民クラブ</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 阿部市政継承からの決算を問う</p>	<p>平成29年度予算編成においては、市長改選時にあたり骨格予算として編成、通常事業に係る政策関連経費ならびにハード事業経費の一部については、当初予算での計上を留保したものであった。</p> <p>(1) 平成29年度予算執行における決算から、新市長の施策については、なかなか読み取り難いものと感じた。そうした中、新市長の行動力から当然推察される市長交際費については、100%近い執行率であり、前市長との相違は明らかである。その意欲的バイタリティから生じた決算結果が、どう施策に反映したか、また、その予算効果についての所見を伺う。</p> <p>(2) 国民健康保険特別会計の多額の不納欠損額37,084,889円、収入未済額329,900,030円への対応、またそれが県広域化制度へ及ぼした税額決定等の影響はなかったか。</p> <p>(3) 外国人観光客誘致、交流人口拡大に係る広域連携、観光ビジネス創出等の一連の観光推進事業の検証結果をどうとらえるのか。また、その予算効果や事業継続の見解について。</p> <p>財務常任委員会における平成29年度予算審査において、数々の留意すべき事項がまとめられた。その指摘の中から</p> <p>(4) 学力向上対策において、平成29年度予算執行した上で、成果に対する予算不足はなかったか。また、その結果を踏まえた検証と、その上で今後努力すべき方策の対応は示せたのか。</p> <p>(5) 下水道事業の決算をとらえ諸問題を加味した今後の地方公営企業法適用化に向けた見解について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

